

移住交流支援センターだより



地域おこし協力隊
田中 泰子
グリーンバレーが取り組む移住交流支援事業について、詳しくお伝えします。

1月15日、寄井にオーダーメイドの靴のお店&工房「リヒトリヒト カミヤマ」がオープンします！

お店のオーナーは、神山塾6期生（H26.2月〜8月）として神山に移住した金澤光記さん（29）。お店のこと、移住のことなど、金澤さんにインタビューしてみました。



金澤 光記さん（29）愛知県出身

□お店の情報
【LICHT LICHT KAMIYAMA】
お店の名前：リヒトリヒト カミヤマ
※「リヒト」はドイツ語で「光」という意味
営業時間：12:00～19:00（火・水曜日休業）
住所：神山町神領字北213-1
電話：088-636-7920

◆移住のきっかけは何でしたか？

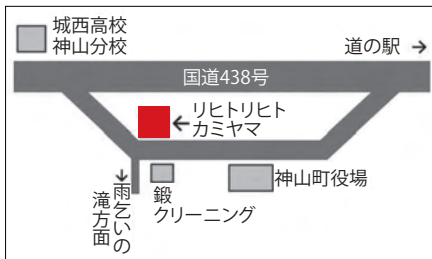
最初は奥さんの実家がある徳島で暮らしてみたいと思ったのがきっかけでした。徳島を訪れるうちに「神山塾」のことを耳にするようになり、そこで、半年間神山で暮らしてみようと思いました。

◆神山塾終了後、神山に残ってお店を開こうと思ったのはなぜですか？

最初は何か他の仕事をしながら、空いた時間に靴の製作をして、2、3年したらどこかでお店を開こうと考えていたのですが、たまたま、神山塾在籍中に今の店舗を紹介してもらいました。この場に立ったとき、「できそうかもしれない」とお店のイメージが湧いてきたんです。そこから、お店を開くことを前提に、沢山のひと話し、自分の中でもより具体的に思っていたように思います。

◆靴職人になったのはどんな経緯だったのですか？

高校を卒業後、兵庫県の医療福祉の専門学校で整形靴科に入り、靴のことを学びました。主に障害者の人が使う靴を作る工程を学ぶのですが、デザインだ



けではなく、より機能が重視されるその世界。靴を履く方やご家族などと細かな相談をしながら、安全でよりデザイン性のあるものをと、一生懸命励んできました。卒業後は、ドイツにも留学、その後、国内で靴職人としての仕事を続けました。

◆神山では、どんなお店を展開したいと思っていますか？

足はひとりひとり本当に違うんです。癖、生活スタイル、仕事を覚えていきます。一方、靴は、靴底（インソール）を変えるだけでも全く違う履き心地を味わうことも出来ます。機能とデザインとの両方にこだわった靴を作りたいと思っています。サイズを選び方、素材の選び方、いろんな靴の選び方があることを知ってもらい、本当の靴の面白さを伝えられるようなお店を目指したいと思っています。

軌道に乗ってきたら、奥さんにも手伝ってもらって、一緒にお店をやりたいと思っています。

神山町移住交流支援センターから空き家提供のお願い

神山町移住交流支援センターでは、移住を希望される方に提供して頂ける空き家の情報を募集しております。

当センターに「神山町に移住をしたいのですが」とお問い合わせて下さった件数は、平成25年度で85件、今年度（平成26年11月末現在）も43件ものお問い合わせを頂いております。しかし、ご希望される方の数に対し、提供できる空き家が非常に少ないという現状が続いております。

当センターでは、移住をご希望された方の中でもお子様連れの若者夫婦や若年者を優先してご紹介させて頂いております。

また、移住者が入ることが決まった空き家の荷物の片付けや掃除なども、センターがサポートさせて頂いております。

いろいろと、不安な点やご不明な点がございましたら、神山町移住交流支援センターまでお気軽にお問い合わせ頂けたらと思います。

どうぞよろしくお願ひ致します。

【お問合せ先】

神山町移住交流支援センター
☎088167611177
担当 地域おこし協力隊 田中